

第19回 供米田中学校区



地域防災大会



参加記念品も
色々あります!

参加自由
入場無料

聞いてみる、見てみる から やってみる! 防災・減災へ

「自助力・共助力を鍛えること」を主目的に毎回違う企画で自主開催する当地域の防災大会、今年は中学生の若い力を活かした「みんながやってみる」大会です。

メインゲストに南海トラフ巨大地震対策の第一人者である名古屋大学名誉教授の福和伸夫先生とお馴染みのNHK気象キャスター寺尾直樹さんをお迎えします。

例年同様に今回も災害ボランティア団体・行政・警察・消防・企業そして消防団はじめ地域の皆さんのご協力により実施します。

皆さん奮ってご参加ください!

中学生が企画する体験重視の防災・減災大会

とき 令和7年 **11月8日(土)**
8:30~12:30 (8:00受付開始)
雨天決行(警報発令時は中止となります)

ところ **供米田中学校**
体育館、特別教室等(北棟1階)、運動場
(会場に参加者の駐車場はありません)

プログラム (内容は現時点での予定で、変更があり得ることを予めご了承ください)

8:00 流れ集合・受付け開始

8:30 **ブース体験交流タイム①**

AED体験、仮設トイレ組み立てなど各種体験を
開会式…中学生が企画して司会進行も務めます!
・ 歓迎の音楽…大会内容の紹介を兼ねた防災寸劇
・ 主催者挨拶
・ zoomによる石川県被災地・穴水町から中継レポート

9:00 防災学習・水害編…寺尾直樹さん(NHK名古屋気象キャスター)

9:30 防災学習・震災編…福和伸夫先生(名古屋大学名誉教授)

10:15 **ブース体験交流タイム②**

起震車、トイレカー、抹茶体験など自由に

12:00~ 消防団放水訓練

両区政委員長による地域防災訓話・宣言

12:10~ 炊き出し試食体験

(当日に調理・配膳など裏方体験も募集)

12:30~ 主催者閉会挨拶~流れ解散

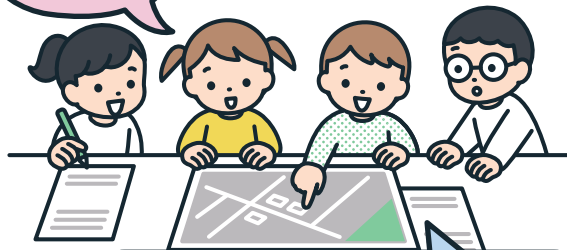
防災学習

名古屋大学名誉教授
福和 伸夫さん

防災学習

気象予報士
寺尾 直樹さん
(NHK 名古屋気象キャスター)

防災グッズ
工作教室も
あるよ!



防災スタンプラリーも実施するよ!



主 催 戸田学区連絡協議会 豊治学区連絡協議会

協 力 供米田中学校

後 援 中日新聞社

出展・協賛 (順不同・敬称略 2025年9月末現在)

運営協力 株式会社山田組(052-301-6121)

供米田中学校生徒/なかがわ災害ボランティアネットワーク/NPO法人レスキューストックヤード

中川区役所/富田支所/中川環境事業所/名古屋市緑政土木局/中川土木事務所/名古屋市防災危機管理局

国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所

中川警察署/中川消防署/日本赤十字社愛知県支部/戸田・豊治消防団

(一社)愛知県建設業協会/(一社)名古屋市建設業協会

中部土木(株)/ (株)ブンクス/(株)眞照/大有コンクリート工業(株)



第 19 回 供米田学区地域防災大会大会 実施報告書

冒頭、次頁に本大会の出展団体・協力団体・関係者リストを掲載したのでご参照いただきたい。こうした団体各位のほかにも大会運営に関わっていただいた数多くの皆さんが存在する。前回までと同様に本大会も盛況理に開催することができたのは、準備段階から事前打合わせ、当日の搬入・活動・搬出まで多大な労力を厭わず取り組んでくださった皆さんのご協力のたまものと、主催者一同、心から感謝申し上げます。

＊

19 回を迎えた今回の大会も従来通り週末開催であったが、早朝から戸田・豊治学区合わせて約 270 名(あいにく当日が豊治小学校の運動会と重なったにもかかわらず)皆さんが参集した。これに地元中学生 80 名、出展団体 50 名、運営スタッフ 30 名(いずれも概算)を加えて約 430 名が参加総数である。今回は特に中学生の増員と活躍が目覚ましく、地元役員の皆さんから「頼もしい」という歓迎の声が寄せられた。特筆すべきは、中学生の皆さんがこの大会に「楽しんで参加していた」ことである。大会の企画・運営を担う一員として、これほど嬉しいことはない。

＊

「戸田・豊治両地区とも行政と連携した防災訓練があるのに、どうしてこの防災大会を開催しているのか？」と地区内外の人から尋ねられることがある。確かにその通りだが、本大会には既存の防災訓練の目的を補完する大きく以下の 3 点の大切な役割があると信じている。

- ① 「災害への備えにやりすぎはない」 本大会も防災の知恵を学ぶ機会
- ② 「平時の防災・減災学習は楽しく」 誰もが進んで参加したくなる工夫
- ③ 「若い世代の巻き込みが地域の願い」 だからこそ中学生を主人公に

結びに、敢えて昨年の実施報告書に記した一節を再掲して締めくくりとしたい。

『この大会の大きな目的は、「戸田・豊治両地区(供米田中学校区)の「共助力」と、その基礎となる「自助力」を不断に高めることである。』

(2025.9.27 現在)

○地域防災 2025 出展団体者・協力団体・関係者リスト

	団体名(順不同)	主な出展内容	出展場所
出展 団体	供米田中学生	キッチンペーパー・新聞紙 防災工作 スタンプラリーの運営 防災寸劇 歓迎の音楽・交流中の音楽演奏 避難所でお抹茶体験	体育館 体育館 下・教室
	中川警察署	災害対策車両展示・交流	運動場
	名古屋市防災危機管理局	耐震ブレーカー体験	体育館
	日本赤十字社	心肺蘇生術 AED 体験	体育館
	中川消防署	起震車体験	運動場
	中川区役所	段ボール間仕切り・ベッド組み立て体験	体育館
	中川環境事業所	仮設トイレの組み立て体験	体育館
	庄内川河川事務所	高所照明車両展示 パネル室内展示	運動場・ 体育館 (パネル展 示)
	名古屋市緑政土木局	災害時の放置車両の移動体験	運動場
	中川土木事務所		
	名古屋建設業協会	ミニ重機展示・記念撮影	運動場
	中部土木株式会社	トイレカーの展示・体験	運動場
	株式会社ブンブス	缶パンほか防災グッズの展示・体験	体育館
	株式会社眞照	防災グッズの展示・体験	体育館
協力 団体	供米田中学校	会場・備品などの貸与	
	戸田・豊治消防団	消火訓練デモ・消火体験	運動場
	茶道部指導・田中さん	茶道部外部指導者	体育館 下・教室
	なかがわ災害ボラン ティア	炊き出し調理・運営指導	調理室・ 体育館外
	レスキューストックヤ ード	被災地・穴水からの zoom レポート	
	愛知県建設業協会	タオル・防災冊子の提供	
	富田支所	炊き出し器具の貸し出し	
	大有コンクリート	タオルほかの提供	
関係 団体	戸田・豊治委員長	地元動員・運営協力・消防団活動要請	
	株式会社山田組	連絡窓口ほか	
	中日新聞社	後援・当日取材(未定)	

■ 大会に先だって

大会で大活躍することになる供米田中学の生徒会役員は、月一度の会議で自分達の活動内容を練り込むとともに、夏休みに名古屋大学「減災館」を訪れて事前学習に努めて意識高く本番に臨んでくれた。



大会の告知は戸田・豊治両地区の皆さんには案内チラシを回覧板に挟んで、中学生には学校を通じて案内チラシを全員に、行政・企業はチラシデータを SNS で、ほかにポスターを地域各所の掲示板和近鉄戸田駅に掲示した。また大会に出展していただく団体各位には 10 月に中学校で事前打ち合わせ会を開いて説明と質疑応答を行った。

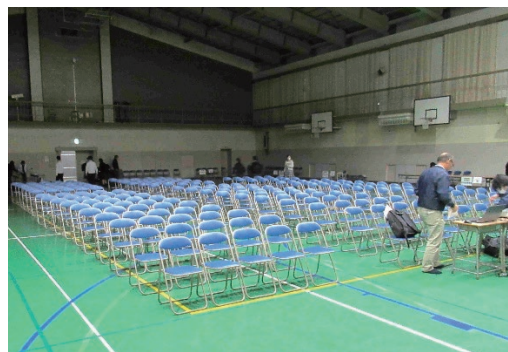


戸田駅改札口横に貼られたポスター



中学生も同席して事前打ち合わせ会

■ 大会前夜



前日夜に中学生も交えて会場設営を

■ 当日の活動の様子(一部)



恒例の中学吹奏楽部の演奏で開会



能登半島の被災地とリモートを結ぶ



屋内会場全景



司会進行は中学生が



受付では各種参加記念品を進呈



中学生運営による防災スタンプラリー



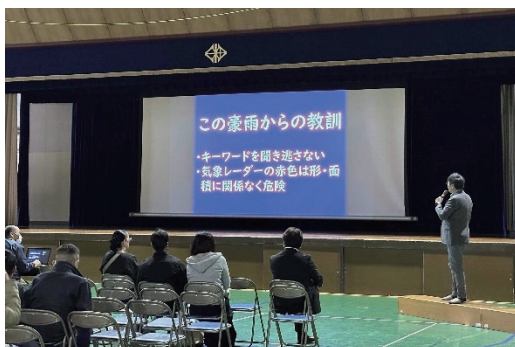
屋内(↑)と屋外(↓)の出展ブースの一部





■ ゲスト講師による防災レクチャー

福和伸夫・名古屋大学名誉教授と寺尾直樹・NHK 名古屋放送局お天気キャスターのお二人による震災と水害に関するレクチャーを参加者全員で聴講した。



福和先生の防災レクチャー(上・下)



寺尾さんの防災レクチャー(上・下)

■ 炊き出し調理体験・試食会の様子



■ 第 20 回大会に向けて



戸田・豊治両消防団による放水デモと子ども達の体験放水に続いて、参加者お待ちかねの炊き出し試食会が開かれて笑い声が絶えない中で豊治学区区政協力委員長の坂野さんによる閉会挨拶となった。

次回は 20 回の節目の大会である。引き続き地域の皆さんも中学生達も「自発的に参加する気になる防災行事」を意識して準備していきたい。